

加美町 地域おこし協力隊



VOL.9



「あゆの里」の謎に迫る！



日時：令和4年4月25日(月)
場所：はやせ鮎 宮城鮎工房
担当：北川・佐々木・稲葉



加美町の方なら一度は目にしたことがある、役場近くの謎の建物…。激しい水の音が聞こえるこの建物は一体何でしょう？
ということで今回、その真相を探るべく「宮城鮎工房」さんに取材へ行ってきました！

Q「あゆの里」ってどんな施設？

ここは、昭和61年の旧中新田町時代、東北で最初にできた鮎の養殖場です。当初は町が運営していましたが、その後組合法人が引き継ぎ、今から17年前に現在の「宮城鮎工房」となりました。

この施設では、全国各地の河川に鮎の稚魚を放流しており、敷地内の水槽には約170万匹の稚魚がいます。そのうちの約8割を河川に放流し、2割を加工品として扱っています。また、毎年5月下旬には「鳴瀬川」にも放流しています。



鮎を放流するまでの流れ

①鮎の稚魚は川で生まれてから海で育つため、**人口海水**で育てます。



③水槽の中で既定のサイズに育つまで泳がせます。この施設では、水車を**2台**導入しており、水流を速くすることで**余分な脂**を落とし**天然の鮎**に近づけているんだとか！



②徐々に真水に慣らしていきます。急に真水にすると鮎にストレスがかかってしまうため、慎重におこないます。

④成長した鮎をポンプで吸い上げ、放流する場所に合うサイズごと、鮎を仕分けします。

⑤全国の河川に何往復もして輸送し、放流します。(トラック一台に**500kg**の鮎が…！)



Q鮎ってどんな魚？

鮎は川魚のイメージですが、川で生まれたあと**海で成長**します。成長した鮎は再び川へ戻り、その後産卵期を迎えます。川に戻ってきた鮎は、川底の石についた苔をエサとするため、川によって鮎の美味しさが違うんだとか。

また、鮎にはたくさんの呼び名があり、きゅうりやスイカの皮の様な独特な香りがすることから**香魚(こうぎょ)**や、寿命が1年しかないことに由来する**年魚(ねんぎょ)**などといった名前があります。

Q鮎はどうやって釣るの？

鮎は「**友釣り**」という方法で釣ります。友釣りとは、鮎の習性(縄張り意識が強く、縄張りにほかの魚が来ると体当たりをする)を利用し、生きた「**おとり鮎**」の背中に針をつけて釣る方法です。この方法は日本発祥で、近年では台湾や韓国でも教えられているそうです。釣るときは長さ9m、重さ200gの軽い竿で、川の中に入って釣ります。宮城県では、**7月1日**から鮎釣り解禁です。

Q鮎の美味しい食べ方は？

塩焼きがなんといっても絶品！そして、鮎は**頭から尻尾、骨まで全部**食べることができます！他にも、一夜干しや甘露煮、天ぷらなどでも美味しいです。

最後に

お忙しい中、代表の新田さんをはじめ取材に応じていただいた鮎工房の皆さん、ありがとうございました。

宮城鮎工房さんでは、鮎の塩焼きや開き、一夜干しなどを取り扱っています。更に、**6月15日**からは鮎の活きめの販売も行予定です。また、「**鳴瀬川KAMICUP鮎釣り大会**」も開催予定なので、ぜひ足を運んでみてはいかがでしょうか♪



ぼのぼの館オープン！

日時：令和4年4月20日（水）
場所：中新田図書館
担当：楊・今野・稲葉

ぼのぼの好きな稲葉隊員を筆頭に、3月22日にオープンしたばかりの「ぼのぼの館」に行ってきました！

ぼのぼの館は、中新田図書館を入ってすぐ右手にあります。館内には、加美町出身で「ぼのぼの」作者のいがらしみきお先生の作業場を**完全再現**したスペースやフォトスポット、グッズなどが並んでいます。しかも、作業場の机や道具は、実際に使われていたものを先生に寄付していただいたものなんです！

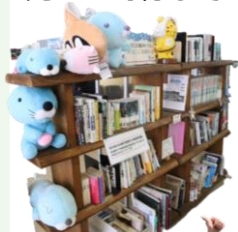


中は…

中新田図書館の外には「ぼのぼのベンチ」が置かれているのですが、実はこのベンチ、花楽小路にも並んでおり、全部で**11個**あります。ベンチに書かれている楽譜は「ぼのぼの」のアニメの主題歌です。歌を口ずさみながらベンチを巡るのも楽しそうですね♪

台湾出身の楊隊員が着ているTシャツに書かれている「暖暖日記」、漢字しかない台湾では「ぼのぼの」はこのような表記されます。どこか温かな気持ちになれるぼのぼのたちの日常がイメージされた、素敵な表現だと感じました。

「ぼのぼの」を見たことがある方も無い方もきっと楽しめる「ぼのぼの館」と「ぼのぼのベンチ」。ぜひ、皆さんもご覧ください！



新隊員が4名就任しました

かみ活サポーター
(1年目)

新

こんの 今野 貴史

加美町役場 ひと・しごと推進課

4月から地域おこし協力隊として活動しています、今野です。鹿原地区で地域運営組織の設立に向けたサポートや、旭地区にある地域づくりセンターの取り組みを支援する仕事に携わっています。

「地域づくり」という簡単そうで難しいこの言葉。町民の皆さんと交流することできっと「見つかる・創れる」ものかもしれません。皆さんの「地域自慢」「おらほの宝」にそのヒントがあるかも！ぜひ皆さん教えてください。



空き家コーディネーター
(1年目)

新

いなば 稲葉 千香子

リロカリコクリ株式会社

4月より地域おこし協力隊に就任しました、稲葉と申します。協力隊OBの米津岳さんが経営されている「リロカリコクリ株式会社」で、空き家コーディネーターとして空き家の管理、相談窓口業務など空き家対策業務を行っています。

空き家を活用して楽しいイベントを企画することを目指し、日々頑張っています。皆さん、よろしくお願いいたします！



グリーンツーリズム
(1年目)

新

たかざわ 高澤 英里奈

グリーンツーリズム推進会議

5月より就任した高澤です。協力隊に応募したきっかけは、心からやりたいこと、好きだと思えること、意味のあることを自分の手でやっていきたいと思ったからです。

様々な活動を通して、加美町の魅力や自然について学び、地域の方々と交流を深めていきたいです。現在竹細工修行中ですが、加美町の竹を使った製品をつくる環境を整え、グリーンツーリズム体験企画に取り入れていくことを目標に頑張りたいと思います。



音楽
(1年目)

新

みやこし 宮越 直紀

国立音楽院宮城キャンパス

5月から協力隊に就任した宮越です。国立音楽院の弦楽器工房で活動していきます。加美町にはバッハホールがあり、今年の2月に行われた弦楽器の展示会にもたくさんの方が来場されているのを拝見しました。音楽の町と聞いて納得しています。

今後は、気軽に楽器を借りて演奏することができ、より音楽を楽しむ人が増えれば良いと思います。これからよろしくお願いいたします。



音楽 (3年目)

きたがわ ひかり
北川 日香里



国立音楽院宮城キャンパス

協力隊3年目になりました。1年目の頃はコロナの影響が大きく、イベントや修理の依頼があまりありませんでしたが、3年経ち、少しずつですが活気が戻ってきているように感じます。

国立音楽院宮城キャンパスでは、今年度たくさんの生徒さんをご入学されました。管楽器の修理だけではなく、音楽を学びたい方を全力でサポートできるよう頑張りたいと思います。また、「音楽」についてジャンル問わず、色々な方と交流できるような楽しいイベントを企画中です。乞うご期待ください！

観光・インバウンド (3年目)

よう さいよう
楊 采容



加美町役場 産業振興課

夏が近づいてきました！コロナ禍なので、休日の過ごし方は悩みますよね。加美町は自然が多い町なので、登山やぼのぼのベンチを探しに行ったり、ドライブに行くだけでも今まで知らなかった「新たな加美町」を発見することがあるかもしれません。

先日、町内「ぼのぼの探し地図」を作りました。かわいーいぼのぼののこともっと多くの人に知ってほしいので、今後は多言語バージョンも作ろうと思っています。ちなみに、「ぼのぼの館」入り口にある多言語看板は私が作りました！ぜひ、見に来てください！

アウトドア・アクティビティ (2年目)

おがた しゅうと
尾形 秀斗



加美町観光まちづくり協会

新年度を迎えて間もなく、4月29日にはさっそくイベントがありました。今回企画したイベントは、昨年度、加美町世間遺産に認定された「屋根の虎舞モニュメント」を活用した火伏の虎舞にちなんだもの。参加者からは「虎舞モニュメントの数の多さに驚いた、虎舞の顔に違いがあるのを知らなかった」などの感想をいただき、虎舞の魅力再発見につながる企画になったと感じています。

今年度からは自らが主体となって、さらに斬新な企画を考えていきたいです。

農業 (1年目)

ささき しょう
佐々木 翔



タカノー産業株式会社

昨年度は、新しい環境での生活ということもあり、体調の変化に苦労しました。農業に関する学びについては、受け入れ先のタカノー産業さんのご協力とご理解をいただき、のびのびと楽しく新人農家生活を送っています。

今年度の目標としては、農業振興担当として採用頂いた中で、地域に寄与できるようなイベントの企画開催を達成できればと考えています。

まだまだ未熟な新米農家ではありますが、今年度もよろしくお願いいたします。

隊員1名が卒業します



農業 (1年目)

もり ひかる
森 耀

農事組合法人アグリ神明



皆さま、こんにちは。地域おこし協力隊の森です。私は6月より独立して就農することを決断しました。協力隊としての一年間、様々な方々にお世話になりました。特に、受け入れ先の農事組合法人アグリ神明の皆さんには、公私ともに支えていただきました。皆さんの後押しのおかげで、東鹿原地区でほうれん草を主軸に起業しようと思えることができました。私の机上での計画を、アグリ神明での活動を通し、実地に落とし込み栽培することができました。そして何より地域の方との関係性を築くことができました。

今後は、前職で経験した税務や法務の経営管理スキルを活用し、また、雨量・風量のデータ化や収穫機械の開発などテクノロジーを取り入れることで、生産性を上げ、規模拡大を図っていきたく考えています。

これからも加美町での生活が続きますので、見守っていただければ幸いです。

今まで本当にありがとうございました。

OB・OGのお知らせ

カミル

【KamiRu】一周年記念！



日時：令和4年4月16日(土)～17日(日)
場所：やくらい土産センター
担当：今野・稲葉

黄色いキッチンカーが目印！

4月17日に、協力隊OGの高橋千鶴さんが経営するキッチンカー「KamiRu」が一周年を迎えました！当日は市内の「土産センター」に出店。黄色に塗られたキッチンカーには、お弁当目当てにお客様が列をなしていました。KamiRuさんのお弁当と言えば、やっぱり「旬菜弁当」ですね。

旬菜弁当とは、加美町で採れた旬の野菜をたっぷり使ったお弁当で、毎月違ったメニューを楽しむことができます。一つひとつ手作りで、栄養バランスも考えられた、体にも嬉しいお弁当です。また、「森のハーブティー」と呼ばれている「クロモジ茶」も販売されていましたよ！

私たちもお弁当をいただこうと並ぼうとしたのですが、すでに完売…。少し残念でしたがそれだけ人気があるということですね♪



ただ商品を渡すだけでなく、お客様とのコミュニケーションを大切にしている高橋さんの姿を見て、この光景が加美町の良いところだと改めて感じました。ぜひ、キッチンカー「KamiRu」のお弁当を食べてみてはいかがでしょうか♪

キッチンカー「KamiRu」についての情報はこちら↓

●KamiRu インスタグラム ID：@KamiRu553



【リロカリコクリ株式会社】 グランドオープンイベント！



日時：令和4年4月22日(金)～23日(土)
場所：小野田サテライトオフィス
Mow-Mow
担当：稲葉

協力隊OBの米津岳さんが経営されている「リロカリコクリ株式会社」では「小野田サテライトオフィスMow-Mow（モウモウ）」のグランドオープンイベントが開催されました。

「Mow-Mow」は、元々牛舎だった建物をリノベーションして作られたことから名付けられています。イベント当日はたくさんの方が来場され、牛舎の面影を残しながらも快適な空間に生まれ変わった施設内を見学されていました。米津さんの説明を聞きながら、施設内を楽しげに歩くお客様の姿が印象的でした！

自然の中にいながら仕事・宿泊ができる「小野田サテライトオフィスMow-Mow」を見学、利用をご希望の方は、ぜひ一度リロカリコクリ（株）までご連絡ください。

また、リロカリコクリ（株）では、今後も皆さんと楽しめるイベントを企画していく予定ですので、インスタグラムもチェックしてみてくださいね♪



ヤギのユキちゃんも待ってます♪

リロカリコクリ株式会社についての情報はこちら↓

●リロカリコクリ株式会社

ホームページ URL：<https://re-localicocre.com>

Instagram ID：@re_localicocre

●小野田サテライトオフィスMow-Mow

Instagram ID：@onoda.so.mow-mow



【発行元】

加美町地域おこし協力隊瓦版
〒981-4252 加美町字西田三番5番地
ひと・しごと推進課 TEL：0229-63-5611
制作・編集 地域おこし協力隊 北川

加美町役場地域
おこし協力隊HP



加美町地域おこし
協力隊Instagram
kamichioko

